

# 本格的な釣りやクルージングをこなす!! 日産マリンボートを3艇一気にご紹介!!



Wing Fisher-27

SUNCAT-26II

Wing Fisher-23EXIII

今回取材にご協力頂いたのは愛知県西尾市にある、日産マリーナ東海さん。広大な面積の陸上及び係留保管バースがあり、自社サービス工場も完備されているので、多くのオーナーが安心してマイボートを保管している。このマリーナを拠点にフィッシングやクルージングを楽しむことの出来る、とても雰囲気の良いマリーナである。

取材協力:(株)日産マリーナ東海 愛知県西尾市東幡豆町緑ヶ崎1 TEL 0563-62-4511 URL www.nm-tokai.com/

SUNCAT-26 II	
全長/全幅/全高	7.85m/2.78m/2.40m
重量(満載)	1.700kg(15人乗ります)
搭載エンジン(出力)	4320cc(2台搭載)
最大搭載人数	BF225 (165.5kW)
最大馬力	16.5
新車価格	¥8,505,000 (税込)



# SUNCAT-26II



フラットなスペースの多いパウデッキ。 開放的なキャビンはパウデッキへ直通。 キャビンの横幅もとても広い。 落ち着いた色で高級感のあるコックピット。



ハードトップハッチを新採用している。 女性にも嬉しい個室トイレを標準装備。 とても開放感溢れる3枚スライドドア。 エンジンは高性能「BF225A」を使用。



落ち着いた雰囲気の大人のマリーナ、日産マリーナ東海さんは広大な敷地の陸上保管バースがあり、多くのボートやヨットが所狭しと並んで保管されている。



今年リニューアルされた綺麗な桟橋。 クラブハウスのすぐ隣で展示艇を発見!! こちらは人気モデルのSUNCAT-26II。 隣にはWing Fisher-27も展示中。

まず最初にご紹介するのは「SUNCAT-26II」。カタマランハルを採用しているこのモデルは、なんとと言ってもその抜群の安定性の高さが魅力的で、大きな復原力による横安定性の高さは多くのボートオーナーから高い支持を得ている。カタマランハルの最大の強みである、この安定性能は、日頃から釣りを楽しむ方には特に嬉しい部分だ。船上での移動時にも傾きにくく、風にも流されにくいといった特性は1度乗ってみればすぐに実感して頂けると思う。編集部も撮影時にカタマランハルを見たのだが、やはり何度見ても魅力的な形をしており、ボートショーのブースでもハルを見るべく足を止める人々を何度も見かける事が

あった。外観を撮影後はキャビンやデッキ部分を撮影すべく、中に乗ってみる。最初に乗って思うのはデッキ部分が広いというのはもちろんだが、それ以上にフラットな部分が目立ち作業をしたり移動するのがスムーズに出来るのではと感じる。キャビンの中も十分に広さが確保されており、テーブルを挟んでゆっくりコーヒーでも飲みながら海に浮かぶ姿をイメージするとなんとも優雅な時が流れる。また、キャビンからはセンターウォークスルーを通りそのままパウデッキに移動も出来る。安定性に優れるだけでなく、快適なクルージングも楽しめる、まさにそんな言葉がピッタリのカタマランフィッシングボートである。



Wing Fisher-27 (X仕様)	
全長(全機)全長	全 2700mm(全 2800mm)
全幅(全機)全幅	全 2100mm(全 2200mm)
搭載エンジン(馬力)	A3200(中置外機)
最大乗人数	DF225 (14名, 840W)
最大搭載重量	12.5t
エンジン価格	標準装備
エンジン価格	¥8,505,000 (税込)



# Wing Fisher-27

Wing Fisher-23EX III (F仕様)	
全長(全機)全長	全 2300mm(全 2400mm)
全幅(全機)全幅	全 1500mm(全 1600mm)
搭載エンジン(馬力)	A3200(中置外機)
最大乗人数	DF115 (8名, 840W)
最大搭載重量	10.5t
エンジン価格	標準装備
エンジン価格	¥3,810,000 (税込)



# Wing Fisher-23EX III



釣りに適した広いパウデッキ。

見やすく広々としたフロントウィンドウ。

座り心地の良いドライバーズシート。

充分の広さのアンダーバススペース。



もう1箇所は奥行きがしっかりとある。キャビンでゆったり寛ぐことも出来る。

こちらも個室トイレを標準装備。

リアデッキはフラットで広く作業し易い。

続いてご紹介するのが『Wing Fisher-27』である。このボートは機能、性能、デザインの全てをゼロから見直され、日産マリーンのスピリットが凝縮された圧倒的な完成度とともに誕生した1艇である。このボートもまた、ボートフィッシングにクルージングといったマリネレジャーを器用にこなしてしまうボートである。パウデッキの広さを見ても、十分なスペースがしっかりと確保されており、ジギングやキャストのどちらにも対応出来るデザインとなっている。また、リアデッキもフラットで広いことに加え、収納のためのロッカーがリアデッキとフロアデッキにも付いており、ボート内をより有効的に使う為の工夫が施されている。

。キャビンも広く快適で、会話が弾むための雰囲気も漂っている。また、個人的にはアンダーバススペースが非常に気に入っており、是非とも皆さんにも見て頂きたい部分の1つである。パウデッキの下の部分と左舷側のキャビン下にある部分の2カ所に分かれており、パウデッキ下の方は申し分無い程の広さが有り、ゆったりと寛いだり、泊まりの釣行時にも使用する事が出来るとさえる。もう一方のスペースもパウデッキ下のスペース程は広くないものの、1人で寝るのに問題は無いと感じる。釣りのためのあらゆるこだわりをカタチにしてくれたボートであり、ボート内に特別な寛ぎ空間を作ってくれているボートである。



釣りしやすい広さを十分確保している。

横幅も広く、休憩に最適なパウキャビン。

機能的な配置の cockpit スペース。

パネル等もとても見やすい位置にある。



ゆっくり座りながら会話も出来る。

視認性に優れたキャビンドア。

リアデッキコントロールはオプション。

リアデッキはフラットかつ広さ十分。

最後にご紹介するのが『Wing Fisher-23EX III』である。こちらは全長7.44m、全幅2.52mとは思えない広さを随所に実感出来るボートである。隣のページで紹介したボート同様にパウデッキ及びリアデッキはフラットで広く、出っ張りや段差が殆ど無いため、撮影時に船内を移動していても、全くストレスを感じない。これならボートフィッシングは当然快適になるだろうし、クルージングに使用しても快適に過ごせるのではないかと。収納場所も多く、本格的なイケースを標準装備していることも嬉しい部分でもある。また、ボート内でゆったりと寛ぎたい時はパウキャビンに奥行きのある休憩出来る場所が確保されていて、オプ

ションでキャビンクッションを付ければ、ゆったりと横になることも可能だと思ふ。これなら釣りで疲れた体を休める時や、クルージング中にちょっと休憩したりするのに最適ではないだろうか。また、オプションのリアデッキコントロールは釣りをする人には特に嬉しい部分で、これによりリアデッキでの操船が容易に可能となった。乗れば乗る程、その魅力的な機能性の高さを発揮し、家族や友人とのクルージングから、釣りの楽しさまで、とことん海を楽しませてくれるボートである。今回ご紹介した3艇は日産マリーナ東海さんで展示中なので、日産ボートに興味を持たれた方は是非一度ご自分の目でボートを見て頂きたいと思ふ。